令和7年度（2025年度）北海道防災総合訓練（第2回）

○ **目　的**

北海道地域防災計画に基づき、北海道、防災関係機関、関係市町村の共同により、大規模な地震・津波災害を想定した訓練を実動で行うことにより、災害時における応急対策活動能力の向上を図り、北海道の災害対応力を強化することを目的とする。

○ **訓練日程・主要会場**

令和8年1月22日(木)～1月23日（金）　乙部町、奥尻町、江差町

○ **主催等**

●主　催 北海道防災会議　　●共　催 檜山振興局管内7町

○ **訓練内容**

1　訓練想定　　北海道南西沖の巨大地震に伴い、日本海沿岸地域に大津波が発生

2　訓練実施項目

■ 情報伝達訓練	○防災情報システム等複数の伝達手段を用いた市町村への情報伝達・共有 ○各種手段（防災無線、エリアメール等）を活用した住民への情報伝達 ○臨時災害放送局による避難所情報の発信
■ 避難訓練	○高齢者等避難行動要支援者への避難支援及びペットの同行避難
■ 避難所運営訓練（宿泊含む）	○マイナンバーカード等を活用した避難所受付の実証実験 ○移動電源車による電力供給要領 ○ペット同伴避難者の受け入れ要領及びペットの飼養管理要領 ○防災講話 「乙部の特性を踏まえた逃げるまでと逃げてからを意識する災害対策」 講師　日本赤十字北海道看護大学　教授　根本昌宏 ○関係機関による展示・説明、段ボールベッドの組立等 ○湯たんぽ、足湯等の低体温症対策及び二酸化炭素濃度の測定 ○段ボールベッド等を使用した宿泊体験の実施
■ 救出救助訓練	○救急車への患者の搬入及び拠点病院への搬送
■ 医療救護訓練	○陸上自衛隊車両によるDMATの搬送
■ 情報収集訓練	○ドローン等を活用した被災状況の確認及び映像伝送
■ ヘリ・ドローン等の運航調整訓練	○ヘリ・ドローン等運航調整所の設置 ○関係機関相互の情報共有
■ 備蓄コンテナ輸送訓練	○トラックによる備蓄コンテナ輸送と避難所における物資荷下ろし

※　当日は悪天候によりヘリ及び艦艇の運用が中止となったことから、訓練計画の一部を変更して実施した。（情報収集訓練、救出救助訓練、医療救護訓練）

○ **参加機関等**　　計39団体（うち市町村7団体）　約570名

【北海道（1）】

総務部危機対策局、環境生活部自然環境局、保健福祉部総務課、同地域医療推進局、同福祉局、経済部AI・DX推進局、奥尻空港管理事務所、北海道立動物愛護センター、北海道立江差病院、檜山振興局、渡島総合振興局

【訓練参加市町村（7）】

江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町

【北海道防災会議構成機関（16）】

北海道総合通信局、北海道開発局、第一管区海上保安本部、北海道管区行政評価局函館行政監視行政相談センター、自衛隊（陸上自衛隊北部方面総監部、海上自衛隊大湊地区総監部）、北海道警察本部、NTT東日本株式会社、KDDI株式会社、北海道放送株式会社、株式会社エフエム北海道、株式会社 FM NORTH WAVE、株式会社STVラジオ、公益社団法人北海道看護協会、一般社団法人北海道薬剤師会、公益社団法人北海道獣医師会、公益社団法人北海道トラック協会

【災害時協定締結企業等・その他協力機関（15）】

一般社団法人日本建設機械レンタル協会北海道支部、一般社団法人日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、一般社団法人日本UAS産業振興協議会（株式会社レンタコム北海道）、榎本商事株式会社、株式会社ムラカミ、日本セイフティー株式会社、檜山広域組合消防本部、北海道キッチンカー協会、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道JRAT（DoRAT）、北海道電気相互株式会社、北海道ドローン協会、八雲総合病院、矢崎化工株式会社、ヤマヤ物産有限会社

※上記については、主要訓練項目に協力いただいた機関を掲載

○ **参加者の声（住民アンケート集計結果）**

【避難所運営訓練（日中）参加者へのアンケート】

■ 全般

全ての参加者が本訓練により防災意識が向上したと述べている。

■ 訓練に参加して最も印象に残ったこと

1：防災講話　2：災害用トイレの研修　3：防災物品等の展示、非常食の加熱法

■ 今後訓練に取り入れて欲しい事項

1：物資受け入れ訓練　2：救急法（AEDの使用等）　3：避難訓練

■ その他自由意見（抜粋）

・本格的な防災訓練は初めてだったので大変勉強になった。
・とても良い訓練。私たちの地域の災害訓練に生かしていく。
・トイレに始まってトイレに終わる。そのくらい大切なことだと学んだのが良かった。
・災害時に支援に来てくれる方のチームワークや意識の高さがわかり、自身も日頃から備えが必要と感じた。

【避難所運営訓練（宿泊訓練）参加者へのアンケート】

■ 全般

全ての参加者が本訓練が役に立ったと述べている。

■ 宿泊者の睡眠状況

1：余り眠れなかった（66．7%）　2：よく眠れた（33．3%）

■ 宿泊時に気になった事項

1：音（66．7%）　2：特になし（33．3%）

■ 宿泊訓練で役に立った事項

1：段ボールベッドの組み立て　2：湯たんぽ　3：足湯体験

■ その他自由意見（抜粋）

・参加メンバー（他者）とともに経験したことは非常に良かった。
・準備が大変だと思うが、このような機会を増やしてほしい。

令和7年度（2025年度）北海道防災総合訓練（第2回）の主な様子（主要会場）

情報伝達訓練・情報収集訓練：乙部・江差・上ノ国

臨時放送局による情報伝達

ドローンによる情報収集（江差町）

ドローンによる情報収集（乙部町）

調整所への映像伝送

救出救助訓練：乙部町

救急車への搬入

救急隊による措置

救急車による搬送

拠点病院の受入

	項　目
管内7町	①情報伝達訓練
	②避難訓練
乙部町	③避難所運営訓練
奥尻町 乙部町 江差町	④救出救助訓練
	⑤医療救護訓練
	⑦ヘリ等運航調整訓練
檜山管内	⑥情報収集訓練
	⑧備蓄コンテナ輸送訓練

※　悪天候のため、④救出救助訓練、⑤医療救護訓練、⑥情報収集訓練については、ヘリや艦艇の運航を中止した。

医療救護訓練：乙部町、江差町

DMAT増援チームの輸送

増援チームの到着

DMATによる患者対応

処置状況等の共有

ヘリ等運航調整訓練：江差町

関係機関の調整活動

現地との調整

備蓄コンテナ輸送訓練：乙部町、函館市

備蓄コンテナの搬出

備蓄品の荷下ろし

避難訓練・避難所運営訓練：乙部町

システムを活用した受付

防災講話
関係機関による説明

防災関連物品等の研修

簡易トイレの研修

キッチンカーによる炊き出し

テント・ベッドの組立

Doはく実演

朝食

避難所でのペット受入

移動電源車による電力供給

足湯体験

非常食の加熱

炊き出しの配布

就寝スペースの設営

リハビリ体操の体験

評価員による講評